

平成30年度第1回秋田県立近代美術館協議会（要旨）

日時：平成30年7月20日（金）13:30～15:00

会場：秋田県立近代美術館 研修室

出席者：会長 木村雅美 横手市教育委員会教育指導部学校教育課長  
副会長 亀沢修 小坂町町史編さん室長  
委員 池田陽子 株式会社Mag代表取締役  
〃 大山満子 公募  
〃 澤谷ゆりか 秋田ふるさと村総務部総務課長  
〃 澁谷和之 澁谷デザイン事務所代表  
〃 松田砂織 えがおの花書道教室代表  
〃 渡辺歩 秋田魁新報社文化部長  
事務局 小野寺康 生涯学習課 生涯学習・学芸振興班 学芸主事  
〃 仲町啓子 近代美術館 館長  
〃 檜尾康子 〃 副館長  
〃 保泉充 〃 学芸班 副主幹（兼）班長  
〃 柴田卓也 〃 総務班 副主幹（兼）班長  
〃 佐々木賢一 〃 〃 副主幹  
〃 茂木亨 〃 〃 主査  
〃 鈴木秀一 〃 学芸班 副主幹  
〃 奈良香 〃 〃 学芸主事  
〃 小林紀子 〃 〃 〃  
〃 鈴木京 〃 〃 〃

<次 第>

1 開 会

2 辞令交付

3 館長あいさつ

4 委員・職員紹介

5 会長・副会長選出

6 協 議

(1) 平成29年度近代美術館事業の概況について

(2) 平成30年度近代美術館事業の概要について

檜尾副館長が、パワーポイントを使用して(1)(2)について一括して事業等を説明

(3) (1)・(2)について一括の協議・質疑応答

7 閉 会

## <協議概要>

### ■ 近代美術館のPRについて

**大規模改修実施後、入館者数に影響はあったか。**

→ 昨年度末2月～3月を休館とし、大規模改修を実施。展示室については、長年の懸案事項であった展示壁の汚れを解消し、美術館本来の姿を取り戻すことができた。また、ハイビジョンギャラリーについては、一部使用できなかった機器をモニターに更新して使えるようにした。キッズルームやふれんどりーギャラリーもより使いやすい改修を行い、県南立地の文化施設として文化の発展や「にぎわい創出」を作り出すことができはじめていると感じる。「北斎の富士展」では目標の入場者数を大きく上回ることができ、入館者数についても前年度比約2倍となっていることから、効果はあったものと考えられる。

**館長講座の狙いとは。**

→ 館長の持つ広く深い知識を県民の方に展覧会とは別の視点から興味を持ってもらい、美術館に足を運んでもらうきっかけになることを狙いとしている。幅広い年代向けの講話であるため参加しやすい講座となっている。

**「チームラボ展」で初めて大学生対象の内覧会を行い、SNSで情報発信をしたようだが、その効果はあったか。**

→ 最近の大学生の情報発信力は侮れないことから、興味のある大学生を募って招待することとした。大学生の交流とSNSからの情報発信を目的として行った。インスタ映えする作品ばかりであるため、ツイッターよりも画像が沢山アップできるインスタグラムの方で、秋田チームラボのハッシュタグがついている投稿が多い。一眼レフをもった若者が増えてきていることから、その効果があったと考えている。

**美術館の内側はきれいになったが、外側を見ると残念である。美術館の顔である入口（玄関）がお客様を迎え入れていないように感じる。美術館をはみ出すような、期待を煽るような、ワクワクさせるようなデザインであって欲しいと思っている。**

→ もう少し楽しくありたいとは思っているが、なかなか実現できない状況がある。  
入口までのアプローチも含め、ふるさと村と一緒に考えていきたい。

**美術館にある「たつこ像の原型」をデッサンする会をやってみてはどうか。その情報を発信すれば、注目を集められるのではないか。学生との交流会で繋がりが出来たのであれば、その学生たちを取り込んでいくのも一つの手である。**

→ ホームページやツイッター、フェイスブックなどやっているが、まだまだ発進力不足を感じる。いただいた貴重な意見を当館の運営に反映させていきたい。